



# 風かおる

学 校 だ よ り  
日 野 市 立 日 野 第 三 中 学 校  
校 長 宮 原 延 郎  
<http://www.j-hino3.hino-tyo.ed.jp/>

〒191-0042 日野市程久保 650 Tel.042-591-2228(代表)Fax.042-591-2221 Tel.042-592-2247(特別支援学級直通)

## 朝礼講話 (1月)

今月は「ふれあい月間」です。お互いを思いやり、全員の生徒が気持ちよく学校生活を送るためにどうしたらよいか、いじめやからかいのない学校生活を送るために一人一人何をしたらよいかを考え、実践していくことが「ふれあい月間」の目的です。皆さんもこの趣旨をよく理解し、実践してほしいです。悩みがありましたら、話しやすい先生に相談してください。月末にはアンケートを実施しますが、それを待たずに相談してほしいと思います。

今日の話は「風評被害」についてです。

風評とは「うわさ」を意味し、風評被害とは、うわさにより起こってしまった被害のことを言います。広域にわたることもあります。学校で起これば、数人を名指しにしたいじめに発展することもあります。

一例上げます。友達の就職が A 銀行に決まり、冗談で友達に「A 銀行倒産しただけ大丈夫」と話した事がきっかけで、短期間で「倒産する」という風評が広がり、預金が引き出され、合計 500 億円に上ったと言う事がありました。銀行はその対応にとっても苦労したそうです。最終的に一人一人を追っていき、冗談で言ってしまった高校生までたどり着きました。悪意がないことから、損害賠償請求は見送ったとのことでした。

東日本大震災でも、避難民がタクシー乗車を断られる、いじめを受けるなど、人として行っていない風評被害が報道されました。今、コロナウイルス肺炎が大きな問題として毎日取り上げられています。一言を誤ってしまうと、風評被害を与えてしまうことに繋がります。場合によっては人権の問題にもつながります。ここ数日で各国での帰国者、中国人に対しての対応が問題視されています。まだ、身近に感じていない人も多いと思いますが、デマ・差別の情報にはくれぐれも注意し、風評被害に加担するような行為がないようにしてほしいと思います。

これに似たことは、クラス、学校、地域でもよく起きます。うわさによって、友達や地域の方が苦しんでしまうことがないように、一人一人が自分の言動に注意を払い、全ての人が楽しく生活が送れるようになってほしいと思います。

## 部活動・コンクール等

### 【美術展】

東京都公立学校美術展覧会

開催日時 2月13日(木)～19日(水) 休館日：17日(月)  
9：30～17：30

出展者

3年 ●● ●●、 ●● ●●、 ●● ●●、 ●● ●●  
2年 ●● ●●、 ●● ●●、 ●● ●●、 ●● ●●  
●● ●●

### 【吹奏楽部】

多摩アンサンブルフェスタ：銀賞  
金管六重奏 曲目「ダンス・レジオナーレ」

第53回 東京都中学校アンサンブルコンテスト：銀賞  
金管六重奏 曲目「ダンス・レジオナーレ」



### 【合唱部】

春こん (北とぴあ さくらホール) 曲目「つながり」「ぜんぶ」

## 【防災標語コンクール】

表彰

1 学年

● ● ● ●

『 災害時 みんなの絆が 命綱 』

## 【書初め展】

教 育 長 賞

3 年

● ● ● ●

教育研究会長賞

2 年

● ● ● ●

金 賞

2 年

● ● ● ●

3 年

● ● ● ●

銀 賞

1 年

● ● ● ●

2 年

● ● ● ●

2 年

● ● ● ●

佳 作

2 年

● ● ● ●

3 年

● ● ● ●

3 年

● ● ● ●

1 年

● ● ● ●

1 年

● ● ● ●

1 年

● ● ● ●

1 年

● ● ● ●

2 年

● ● ● ●

2 年

● ● ● ●

3 年

● ● ● ●

3 年

● ● ● ●

3 年

● ● ● ●

3 年

● ● ● ●

## 3学期 始業式講話

令和2年、2020 年が始まりました。今年は皆さんにとって印象に残る年になるでしょう。東京オリンピック、パラリンピックが行われます。昨年行われたラグビーワールドカップ以上の盛り上がりが予想されます。三中でも、夏休みに各学年、オリンピック観戦に行く予定になっています。ラグビー観戦です。楽しみにしててください。

お正月を迎え、「今年はこんな年にしたい」という希望を抱いたでしょうか。「一年の計は元旦にあり」という言葉を聞いたことがあると思います。計とは「計画」のことです。一年間の計画を立てるのは1月1日の朝がよく、良い結果を招くといわれています。諸説ありますが、毛利元就(もうりもとより)が語ったとされている説もあります。毛利元就(もうりもとより)は、「一年の計は春にあり、一月の計は朔(ついたち)にあり、一日の計は鶏鳴(けいめい)にあり」と言っています。先を見込み、行動することはとても大切です。先を見込んだ計画を立てることは、人が生きていくうえでとても必要なことです。その場その場での対応ではなく、先をしっかりと見込み、計画を立てるようにしてください。今からでも遅くありません。今年の計画を立てられていない生徒は、これからしっかりと計画を立ててください。

「一年の計は元旦にあり」の類語に、「一生の計は少壮(しょうそう)の時にあり」という言葉があります。少壮(しょうそう)の時とは「若くて意気盛んな時期」のことです。「一生の計画は青年期に考えておくべきである」ということです。生涯で自分が為すべきことを考え、為すための力を、青年期に蓄えておく必要があるからです。

皆さんは、将来の夢や人生の計画なしに、単に勉強し良い成績をとり、良い大学に入ることが先行していないでしょうか。大学までの計画では、大学に入学と同時に、目標がなくなってしまう。50 歳 60 歳の先のことで考えられないという人がいるかも知れませんが、考えることは必要です。夢実現に向け、今何をすべきかをしっかりと考えられる人に成長してください。目先にとらわれず、夢を持ち、夢をあきらめずに邁進してってください。最後に、小学校六年生の時に書いたあるアスリートの作文を読み上げます。

僕の夢は一流のプロ野球選手になることです。そのためには中学、高校と全国大会に出て活躍しなければなりません。活躍できるようになるためには練習が必要です。僕は3才の時から練習を始めています。3才から7才では半年くらいやっていましたが、3年生の時からは365日中360日は激しい練習をしています。

だから、一週間中で友達と遊べる時間は5、6時間です。そんなに練習をやっているのだから、必ずプロ野球選手になると思います。そして、その球団は中日ドラゴンズか、西武ライオンズです。ドラフト一位で契約金は一億円以上が目標です。僕が自信のあるのは投手か打撃です。

去年の夏、僕たちは全国大会に行きました。そして、ほとんどの投手を見てきましたが自分が大会ナンバーワン選手と確信でき、打撃では県大会4試合のうちホームラン3本を打てました。そして、全体を通した打率は5割8分3厘でした。このように自分でも納得のいく成績でした。そして、僕たちは一年間負け知らずで、野球ができました。だから、この調子でこれからもがんばります。そして、僕が一流の選手になって試合に出られるようになったら、お世話になった人に招待券を配って応援してもらうのも夢の一つです。とにかく一番大きな夢は野球選手になることです。

誰だかわかりますね！昨年2019年3月21日に引退したイチロー選手です。皆さんも夢に向かっていてください。そのために、計画をたて、力を付ける努力を惜しまないでほしいと思います。